



姉妹都市締結20周年記念式典

# アメリカホームステイプログラム



町では、国際的な視野を持つ人材育成を目的に、中高生をアメリカの姉妹都市ヘイスティングズ市に派遣するホームステイプログラムを実施しています。前回の参加者に感想を聞いてみました。



日本庭園



石けん工場見学

**自**分を大きく変えるチャンスだと思い、このプログラムに応募しました。なにもかもが初めて見る世界で、大きな食べ物、農家の巨大な畑などにも驚きました。当初は自分の英語を使ったコミュニケーション能力を伸ばすというのが大きな目標でした。文化に触れ、日本との違いを勉強していく中で、家族のありがたみなども感じる事ができました。

ホストファミリーも本当に家族を大事にしている事がわかり、文化が違っても共通するところもあるのだと感じました。将来は経験を生かし英語に関わる仕事をしたいです。

佐藤穂乃香



**ホ**ームステイは私にとって、初めての経験でした。ヘイスティングズ市はスポーツが盛んで、グラウンドやプールなども充実していました。気候はすっかりとした気候で、湿度が低かったです。たくさんの人たちが私たちを歓迎してくれました。文化に驚いたのはケーキ専門店の人から、1人ずつに、日本の国旗を描いたケーキを頂いたことです。ホストファミリーと一緒に過ごしてくれたので、とても楽しくて充実した日々となりました。もちろん全て英語という環境ですが、人々の暖かさを感じる貴重な経験を得た、アメリカの夏になりました。

加藤菜月



**現**地で英語を話したい、異文化に触れたい、そんな思いからホームステイに参加しました。2週間という短い間でしたが、とても良い経験ができました。はじめは英語を聞き取ることだけで精一杯でしたが、何日かたつと、簡単な英語でしたが会話ができ、ジェスチャーを交えてコミュニケーションをとることでもっと仲良くなれました。ホストファミリーのお父さんは農学者、お母さんは教師だったこともあり、はちみつ作りや現地の学校へ行く事もできました。

この体験を生かして、更に世界について勉強していきたいと思っています。

荒木千愛



**母**からの薦めで応募しました。ヘイスティングズでは、英語しかしゃべれないという環境に最初は戸惑い、自分の気持ちが相手に伝えられないことに対して、何度も悔しい思いをしました。日本にいたただけでしたらできない経験だったと思います。衣食住の文化も違うということを感じることができ、良かったです。そして、日本に帰ってきて、英語がしゃべれずに悔しかった思いをバネに、たくさん勉強して、英語が大好きになりました。英検の準2級をとることもできました。これからも大好きになった英語の勉強を続けていきたいと思っています。

電元あかね



**親**からの薦めで、受けたホームステイプログラムでしたが、行ってみて最終的には英語が好きになり、もっと海外の勉強をして、アメリカや他の国の勉強をしたいと思うようになりました。英語でのコミュニケーションの難しさはもちろん、量が多いアメリカの食事や、クーラーが効きすぎて寒いくらいの室内、庭にプールがある家がたくさんあること、アメリカのスイーツはとてつもなく甘いことなど、日本には絶対にはわからなかったことが経験できました。親に薦められたあの時、「行きたい」と言えて本当によかったと思っています。

河津結



## ホームステイに参加しませんか？

- 派遣先 アメリカ合衆国ネブラスカ州ヘイスティングズ市(町姉妹都市)
- 募集人数 中学生・高校生13人程度
- 派遣期間 7月22日(土)～8月2日(水) 11泊12日(予定)
- 助成金 派遣経費の1/2以内を助成  
※参考：一人あたりの助成金は約15万円(航空運賃などにより変動することがあります)。

- 主な参加資格
  - ①町在住で、このプログラムに参加したことがない人
  - ②「事前説明会(2回程度)」、「事前学習会(5回程度)」と「帰国報告会」に全て参加できる人
  - ③帰国後に国際交流活動などまちづくり活動に積極的に参加できる人

- 申込方法
  - ①申込書
  - ②保護者の同意書
  - ③作文(参加動機を原稿用紙2枚程度にまとめたもの)を総務課にご提出ください。
- 申込期限 4月21日(金)
- 申し込み・問い合わせ 役場総務課 地域づくり推進係 ☎096(293)3111



**自**分の英語力を試したかったのが大きな動機でした。実際に行って、みて自分の英語力を客観的に見ることができて本当に勉強になりました。

他にも行って良かったと思うことは、アメリカの良いところや文化を知ることができたことです。ホストファミリーや色々な人と話すことができ、楽しい時間を過ごすことができました。

何より、伝わらないときもジェスチャーなどを使うなどして、コミュニケーション能力が身についたと思います。行くか迷っている人にはぜひお勧めしたいです。

河津笑美



**正**直、「アメリカに行きたい」という強い思いで応募してみたものの、実際に行くまでは国外に出るのは、少しためらいのようなものがありました。

しかし、実際にホームステイを体験し、日本語が通じない不自由な環境に身を置くことで、相手のことを知ろうと思うようになり、ひいてはアメリカの文化や習慣を学ぼうと思いました。

また、私自身は英語がとても苦手でした。現地でも悔しい経験をし、行った後はもっと話したり、聞いたりできるようにしたいと思いが強くなり、今も勉強は継続しています。本当に行けてよかったです。

高本翼



**英**語がもともと好きで、実際に外国人の人と話して自分の英語力を確かめたいと思っていたので、とても良い機会になりました。

ホストファミリーの皆さんとも、行ってすぐは緊張して自分からほとんど話しかけることができず、自分から話しても、通じないことや聞き取れないことも多かったのですが、ゆっくり話をしてくれたり、何度も言い直してくれたり、とてもわかりやすかったです。意思疎通ができるようになると更に楽しくなり、今でも個人的な交流が続いています。私にとって大きな財産となりました。

郷明日香



**2**年前の広報の記事を見て、私も行ってみたいと思い、応募しました。

生まれて初めてキリスト教会のミサに参加をしたり、携帯電話をなくしてしまふ国際電話をつかったり、現地のファストフード店で注文をしたり日本では経験できないことを多く経験しました。その中で感じたことは伝えることの難しさ。

やはり、言語も文化も違うと、思い通りの内容で伝えることができていなかった事などがありました。学校の授業だけでは、おそらくわからなかったアメリカでの経験ができたと思い、とてもよかったです。

魚野真央



**海**外で勉強したかったので応募しました。英語しか伝わらない環境の中で、どれだけ伝えられるか心配だったので頑張って伝えようと努力しました。かけがえのない経験ができました。

食事や建物、風景など日本との違いが多く、非常に驚きが多かったです。日本に戻ってからでも他の国に興味が高まりました。また、言葉が通じなくても、伝えようとする気持ちがあれば、様々な方法で努力ができることがわかりました。今でもホストファミリーとSNSなどで交流が続いており、楽しく勉強を続けています。

関桃



ヘイスティングズ市の町並み

**も**ともと外国が好きで、将来は英語を使った国際的な仕事がしたいという思いで参加しました。

国も違い、当然文化も違う人たちと英語のみをつかったコミュニケーションは、日本には決して経験できなかったことではなかつたと思います。

そして、遠く離れたアメリカでの新しい友人ができ、日本に帰った今でも家族ぐるみでの付き合いも始まり、この経験のおかげで私だけでなく、家族も外国への興味関心を持ってくれたことがとてもうれしかったです。ぜひ多くの人に私のような経験をしてほしいと思います。

後藤仁



**私**は引っ込み思案で引きこもりがちで、個性を直したいと思い、このプログラムに参加しました。

ホームステイ先では驚きの連続で、建物や道路、食べ物など、なんでもビッグスケールで日本との違いに驚きました。そして、道を歩く人たちが色々な格好で歩いていて、「人それぞれ」ということを認め受け入れているという社会がそこにはありました。「笑顔は世界共通」なのか、滞在中に実験してみました。苦笑いや楽しい笑顔も通じました。英語ができなくても大丈夫。何とかできます。他でできない経験をしてみませんか。

猪原零



感激！日の丸国旗ケーキ



レイクサイドパーティー